

基本政策VI 家庭・地域の教育力を高める

政策 目標

各家庭における教育の支援や、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりを通じて、家庭・地域の教育力の向上を図ります。

主な課題

- ①核家族化の進行や、働き方の多様化、地域のつながりの変化等により、子育てに悩みや不安を抱える家庭もあることを踏まえ、地域社会全体で子育て家庭を支えながら、**家庭教育の推進を図る仕組みづくり**が求められています。
- ②学校・家庭・地域の連携の取組を推進し、地域の教育力の向上を図る自主的な活動組織として、7行政区・51中学校区に地域教育会議が設置されており、より幅広い構成員によるネットワーク化を進めながら、**地域教育会議の更なる活性化に向けた取組を充実させていくことで、地域の教育力を向上**させていくことが求められています。また、平成26年度から取組を進めている「**地域の寺子屋事業**」は、シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験をいかして、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代がつながり、学び合う生涯学習の場として定着してきており、今後、**更に取組を広げ継続していくために、地域人材や団体を育成**していく必要があります。

主な取組成果

- ①子育て期の市民を地域全体で支え合う家庭教育環境を構築するため、**市民館での家庭・地域教育学級等の実施**や、PTAによる家庭教育学級への支援を行うことで家庭教育に関する学習機会を提供したほか、関係部局や地域団体と連携した家庭教育支援講座を、身近な施設であるこども文化センターで開催したことによって、普段市民館で講座を受講することが困難な市民に家庭教育に関する学習機会を提供することができました。また、企業や地域団体等と連携した家庭教育支援講座のチラシを作成して市内施設に配架するとともに、市ホームページ等でも積極的に広報を行いました。
- ②**地域教育ネットワークの構築**に向け、有識者を招いた推進会議の開催や、**各中学校区におけるネットワークの活性化を担うコーディネーターの委嘱**（令和3年度末時点：10中学校区→令和4年度末時点：24中学校区）を進めるなど、地域の教育力を高めるための取組を推進しました。また、寺子屋先生養成講座を市内9か所で開催し、うち2か所は中学校の学習支援を行う人材の養成を行いました。また、寺子屋コーディネーター養成講座を市内3か所で開催しました。さらに、地域の寺子屋推進フォーラムを川崎アゼリアで開催し、寺子屋関係者が寺子屋についての理解を深めるとともに、広く市民の方へ寺子屋事業を周知しました。

教育改革推進会議における意見内容

- ①家庭が子どもの学びや育ちに大きな影響力を持っていることは間違いないが、家庭教育の責任を家庭に押しつけたり、努力を強いるのではなく、**地域で家庭を支えるという温かい考え方は素晴らしいと評価する。**
- ②地域教育会議が運営する「子ども会議」は、子どもが社会に参加する大事な機会だと捉えている。実際に参加した子どもが、そこで刺激を受け大きく成長した姿を受け、**もっと多くの子どもに「子ども会議」を知ってもらい参加してもらえよう推進してほしい。**
- ②地域や家庭が、**学校が多くを担ってきた教育資源を地域に振り分けながら学校の負担を減らしていく方法を考えていかなければならないと思う。その中で、教育は社会全体でやるものという意識付けを行っていく必要がある。**
- ②寺子屋の活動について、子どもたちが毎回とても楽しみにしている。世代を超えたつながりは、今の時代にあっては子どもたちの貴重な経験であり、今後も寺子屋事業を推進してほしい。

今後の取組の方向性

- ①**市民館での家庭教育に関する学習機会の提供について、ICTを活用した事業展開等に取り組んでいきます。**また、PTAによる家庭教育学級への支援については、PTA活動の事情に応じた支援が行えるよう、個別に対応するなど丁寧な支援に取り組んでいきます。さらに、企業や地域団体等と連携した取組について、各区との連携も視野に入れながら引き続き取り組んでいきます。
- ②地域教育ネットワークの構築については、養成講座の内容等を工夫することで、地域教育コーディネーターの委嘱を進めるなどの改善を行いながら、取組を推進します。

参考指標

指標名	指標の説明	実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
家庭教育関連事業の参加者数	教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育事業の参加者数 【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】	5,920人 (R2(2020)年度)	11,227人	-	-	-	23,500人 以上
家庭教育関連事業を通じて悩みや不安が解消・軽減した割合	教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育関連事業で悩みや不安が解消・軽減した人の割合 【出典：家庭教育事業参加者アンケート】	83.8% (R2(2020)年度)	96.6%	-	-	-	93.0% 以上
PTA・企業等多様な主体と連携して実施した家庭教育関連事業数	PTA・企業・子育て関連部署等と連携して実施した家庭教育関連事業の開催数 【出典：川崎市教育委員会調べ】	71回 (R2(2020)年度)	131回	-	-	-	175回
地域教育会議における参加者の意識の変化	地域教育会議が開催する「教育を語るつどい」等の事業において、「子どもや地域のことを考えるきっかけとなった」と答えた参加者の割合 【出典：川崎市教育委員会調べ】	97.6% (R2(2020)年度)	95.8%	-	-	-	93.0% 以上
地域の寺子屋事業を通じて生まれた地域と子どもとのつながり	地域の寺子屋事業に参加した児童を対象とした意識アンケートにおいて、親や教員以外の地域の大人と話すことができた割合 【出典：地域の寺子屋事業参加者アンケート】	94.5% (R2(2020)年度)	97.1%	-	-	-	95.0% 以上